

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2022 年 6 月 20 日

尼崎市長 殿



提出者

住所 兵庫県尼崎市西高洲町16番地の22

氏名 株式会社天城建材センター
代表取締役 鶴田 剛

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 06-6419-7704

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他の処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社天城建材センター
事業場の所在地	兵庫県尼崎市西高洲町16番地の22
計画期間	2022年4月1日～2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	生コンクリート製造業
②事業の規模	年間出荷量 27800m ³
③従業員数	5人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	生コン製造出荷→現場からの残生コン →自社で処理機にて生コン洗浄水（スラッジ水）と回収骨材と分ける →洗浄水をろ過した汚泥（脱水ケーキ）が発生 発生した汚泥（脱水ケーキ）と回収骨材を中間処理委託業者にて処分する。

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1500 カフス、リ、コン クリートくず及び陶磁 器くず	
	排出量	1200 t	t
	(これまでに実施した取組) 顧客と残コンを少なくなるよう打ち合わせを行う。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1500 カフス、リ、コン クリートくず及び陶磁 器くず	
	排出量	800 t	t
	(今後実施する予定の取組) 顧客と残コンを少なくなるよう打ち合わせを行う。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1300 カラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1300 カラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1300 カラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
(これまでに実施した取組) 該当なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1300 カラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 該当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	
	全処理委託量	1200 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1200 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1200 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 優良認定処理業者へ委託している。		

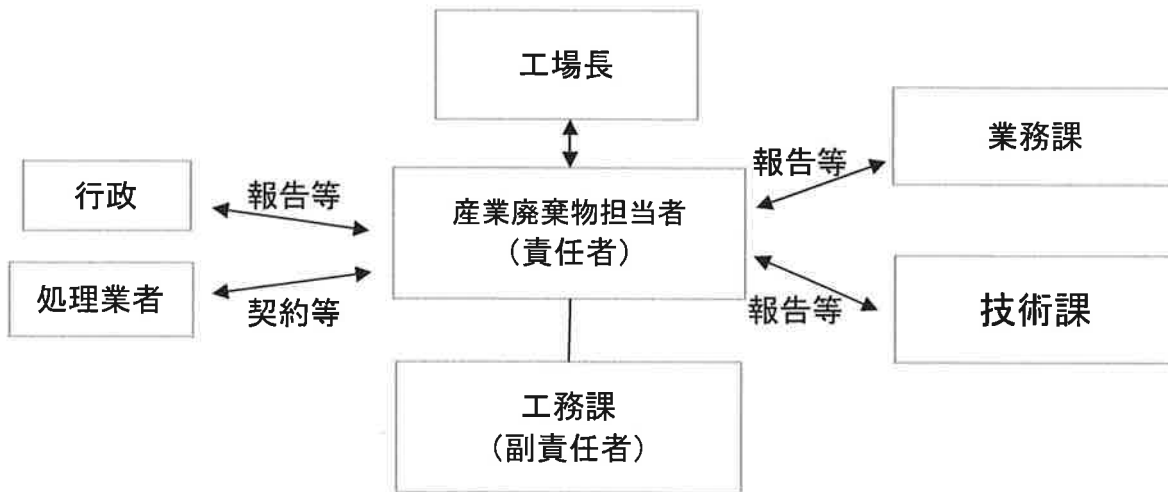
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1500 カラスベリ、コン クリートくず及び陶磁 器くず	
	全処理委託量	800 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	800 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	800 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者へ委託を行う。		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に管理する事項
(管理体制図)



○分担

産業廃棄物担当者(責任者、副責任者)

- ・工場内のマテリアルフローの把握、統合的な廃棄物減量計画の立案
- ・工場内の廃棄物処理計画等の策定、部署間の調整、行政への報告
- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引き渡し、適正処理の
- ・工場内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督

業務課・技術課(担当:全部署)

- ・部署内の発生産業廃棄物の発生削減、分別、場内保管場所への運搬
- ・部署内スタッフへの分別方法の徹底